



教育

さいとう しんじ
齋藤 信治 議員 (WAKABA)

インクルーシブ教育を推進するには 答弁…教育活動の工夫・充実を図っていく

問 視察した大阪府豊中市では、50年前から障がい者と健常者を分けないインクルーシブ教育を実現している。『障がい者』に違和感や差別意識を醸成しないこの教育を、教員も保護者も児童も当然と考えている。当市でもインクルーシブ教育を推進できないか。

答 障がい者と健常者がともに学ぶ環境は、お互いの違いを自然に受け入れ尊重し合える心を育める良さがある。一方、障害の程度によっては、より専門的な支援を必要とする場面もある。別々の活動と一緒に活動する場面に必要に応じて工夫しながら取り組んでいく。



視察先の明るい図書室

構想 人口減少の先ににぎわいのある街を

答弁…コンパクトな都市構造への転換等を図る

問 日本は人口減少社会にある。市民も市役所職員数も同じだ。すでに過大となっているインフラ等の整備が追いついていないなど影響が出ている。人口減少を受け止め、拡大ではなく縮小を前提にしたコンパクトでにぎわいのある街づくりを目指すべきではないか。

答 開発許可制度や立地適正化計画制度の適切な運用を通じたコンパクトな都市構造への転換を図るとともに、既存集落から都市機能が集積する拠点等へのアクセス性の確保に取り組み、コンパクトプラスネットワークのまちづくりを進めていく。



事業

かとう かずお
加藤 一生 議員 (真風)

今年度計画された道路事業の進捗は 答弁…予定している事業を着実に進めている

問 市庁舎の火災被害に関連して、臨時で費用が発生しているが、それに伴い、今年度計画された道路事業に何らかの支障や影響があるか。

答 本庁舎の復旧に向けた対応を行いながら、生活道路の整備や維持補修、都市計画道路の整備などの事業を着実に進めている。引き続き、これらの事業に支障や影響が生じないように実施していくとともに、突発的な補修事業や安全対策にも速やかに対応していく。



開通間近の白岡宮代線

防犯 市内の犯罪発生状況と市の姿勢は

答弁…犯罪被害に遭わない取組を実施していく

問 市内における侵入窃盗犯罪及び詐欺電話等の特殊犯罪の発生状況は。

これらの犯罪に対し、市はどのような姿勢で臨んでいるのか。

答 本年1月から10月末までに発生した窃盗犯罪件数は95件である。また、特殊詐欺被害件数は10件である。市は、防災行政無線による注意喚起、啓発活動を行うほか、青色防犯パトロールカーで回転灯を点灯させ、「見せる防犯」として犯罪抑止に努める取組を実施している。